

35mmフィルムで楽しむ
門司なつかしの映画祭

HUMAN

SUSPENSE

黒澤 明

「生きる」
「天国と地獄」

日時：令和8年¹¹/15日 開場9:30 開演10:00

上映作品

「生きる」 10:00～12:23 (監督：黒澤明 出演：志村喬、小田切みき、田中春男)
「天国と地獄」 13:30～15:53 (監督：黒澤明 出演：三船敏郎、仲代達矢、香川京子)

前売 1000 円 (映画2本+小さなお弁当)

当日 800 円 (映画2本鑑賞のみ)

■当日お弁当の販売はありません。

■当日券・招待券でご入場の方は映画鑑賞のみとなります。

前売券お取り扱い

門司市民会館／若松市民会館／小倉井筒屋プレイガイド
北九州芸術劇場プレイガイド (リバーウォーク北九州 5F)
下関市生涯学習プラザ

電話予約 (門司市民会館 093-321-2907)

13:00 よりハーフタイムトーク

下関 漁港口の映画館
シネマボスト支配人 鴻池和彦氏を
ゲストに迎え 黒澤明作品の
魅力を語ります。

会場：北九州市立門司市民会館

JR 門司港駅より徒歩13分／西鉄バス「レトロ東本町一丁目」より徒歩5分／「関門トンネル車道口」より徒歩3分
※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

〔主催〕門司市民会館／共同企業体グループ A2K／北九州優秀映画鑑賞推進事業実行委員会／国立映画アーカイブ 〔特別協力〕文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会／松竹株式会社／東宝株式会社／東映株式会社／株式会社 KADOKAWA 〔後援〕北九州市／北九州市教育委員会

お問合せ：北九州市立門司市民会館 (9:00～22:00) 北九州市門司区老松町3-2 TEL 093-321-2907 www.g-a2k.com/moji



生きる

[1952年 東宝]

白黒／スタンダード／モノラル／143分

[監督・脚本] 黒澤明 [脚本] 橋本忍、小国英雄

[出演] 志村喬、小田切みき、田中春男、千秋実、金子信雄、
浦辺条子、清水将夫 他

いのち短し 恋せよ乙女・・・

死を知って初めて「生きる」ことの意味を問う、
黒澤明代表作の1本となった感動作

市役所の市民課長である渡辺勘治（志村喬）は、30年間無欠勤を続けてきた真面目な人物。しかしある日、胃に痛みを感じて病院で診察を受けてみたところ、自分が胃癌であることを知る。絶望と孤独にさいなまれ、歓楽街をさまよい飲み慣れない酒を飲む。自分の人生とは一体何だったのか。渡辺は人間が本当に生きるということの意味を考え始め、初めて真剣に役所の申請書類に目を通す。そこで彼の目に留まったものは……。

主演は黒澤作品の常連のひとりだった志村喬。哀愁たっぷりに一世一代の名演を披露し、特に主人公が公園のブランコに乗って「ゴンドラの唄」を歌うシーンは日本映画史上、屈指の名場面。

2022年には英国でノーベル賞作家カズオ・イシグロの脚本によって『生きる LIVING』としてリメイクされ、第95回アカデミー賞では惜しくも受賞を逃したものの、ビル・ナイが主演男優賞に、そしてイシグロが脚色賞にノミネートされた。

第4回ベルリン国際映画祭ベルリン市政府特別賞受賞、「キネマ旬報」ベストテン第1位。

黒澤明

監督…黒澤明
「天国と地獄」

監督…黒澤明
「生きる」

天国と地獄

[1963年 東宝＝黒沢プロダクション]

白黒／シネマスコープ／モノラル／143分

[監督・脚本] 黒澤明 [脚本] 小国英雄、菊島隆三、久板栄二郎

[出演] 三船敏郎、仲代達矢、香川京子、三橋達也、木村功、
志村喬、山崎努 他

身代金を厚さ7センチのカバンに入れて「こだま」に乗れ！エド・マクベインの原作を巨匠・黒澤明監督が映画化した傑作サスペンス

横浜の高台に豪邸を構える製靴会社重役・権藤（三船敏郎）。ある日、彼の自宅に息子を誘拐したとの電話が入る。しかし実際に誘拐されたのは運転手の息子。間違っ

て誘拐されてしまったのだ。犯人は身代金三千万円を持って特急こだまに乗るよう命令する。警察（仲代達矢ら）の必死の捜査が始まるが、捜査陣は犯人の正体さえつかめない。そして事件は意外な展開を見せる……。

全編に圧倒的な緊張感が溢れており、中でも、舞台となる特急こだまの構造を隅々まで分析して考案したという、日本映画史上に残る身代金奪取の意外なトリック・シーンは圧巻。また、実際に車両を借り切つて、数台のカメラを同時に回すというダイナミックな撮影が、この作品を他の犯罪映画とは一線を画したリアルなものにしている。

「キネマ旬報」ベストテン第2位。

11/15日

生きる [上映時間 10:00～12:23]

天国と地獄 [上映時間 13:30～15:53]

